

クラブ教室と家庭をむすぶ

おもしろ教室だより

令和7年12月発行

No.163

三川少年少女

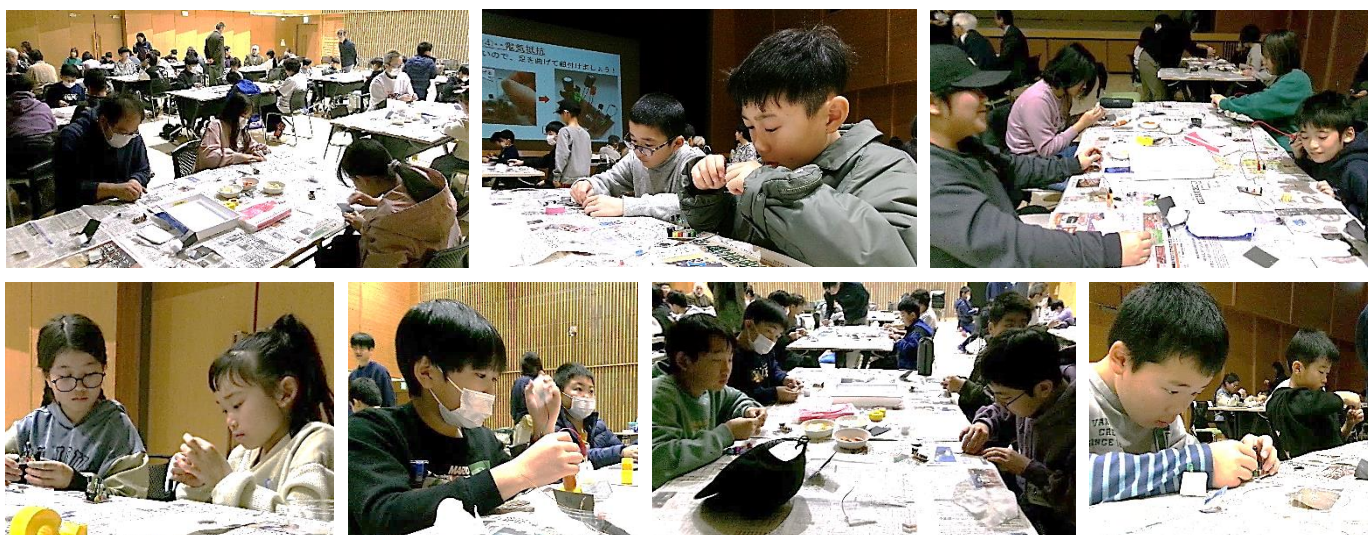
発明クラブ事務局

未来の科学の夢絵画制作 9/20・27、10/11 (全て土曜日)



9月から10月にわたり3回の活動日で「未来の科学の夢絵画」に取り組みました。未来にあったら楽しいもの、こんな未来で暮らしてみたいという家やシステムなど、たくさんのアイデアが生まれて、それを絵で表現してみます。どう描いたら見る人に伝わるかとか、色づかいなどを工夫するとか、指導員の助言を聞きながら、細かい部分まで色ぬりをがんばり、みんなのやさしい気持ちが伝わってくる絵が完成しました。作品は「第22回未来の科学の夢絵画展」に出品しました。

公開講座～楽しい☆科学実験～「あら不思議! うまれる電気・つながる電気」



11月15日(土)にテオトルの多目的ホールで「楽しい☆科学実験」を行いました。当日は、三川のクラブ員だけでなく、鶴岡のクラブ員・町内の一般参加の小学生とその保護者、また、県内の発明クラブ指導員のみなさん(視察・交流)の合計約70名が参加しました。今年度も鶴岡高専より3名の先生を講師としてお迎えし、クラブ員たちが目を輝かせるようなおもしろいことを体験させていただきました。

最初は、レモンや魚肉ソーセージなどを使って電池ができるかの実験で、小さなオルゴールを鳴らしてみました。次に、水で電気がつながるおもちゃ工作を行い、LED電球をピカピカと光らせてみました。どちらもクラブ員たちは夢中になって取り組み、「電気が通る仕組みが見えた」「はじめて聞くことが多すぎた」「今まで分からなかったことが分かった」などの感想がありました。この体験もひらめきの種になるはずです!

第 60 回山形県発明くふう展

《応募総数 241 作品》

◆特別賞(一般社団法人山形県発明協会会長賞)

「パチパチせんたくネット」 佐藤綾仁さん(横山小4年)

全国展へ推薦出品

◆優秀賞(山形県工業会会長賞)

「ペットボトル折りたたみ機」 土田悠馬さん(東郷小6年)

◆優良賞

「らくらくつめかえパック」 松澤ますみさん(横山小6年)

第 22 回山形県未来 の科学の夢絵画展

《応募総数 224 作品》

◆優良賞

「発電木」

齋藤翼さん(押切小4年)

Congratulations
on your
award!



ロボット制作 12/13・20(土)



12月の活動日はテオトルの多目的ホールでロボット制作を行いました。今年度のロボットは、蒸気を出しながら動くロボット『ミストン』です。熱くない不思議な蒸気について指導員が解説をして、デモ機で実際に動かしてみると「おー！」と好反応していました。ロボット制作の活動は、説明書を見ながら組み立てていく体験です。高学年はニッパーやドライバーの使い方もお見事で、図をみながらどんどんすすめていました。はじめて取り組むクラブ員も真剣そのもの、部品ひとつひとつをていねいに組み立てていました。

1回目の制作中、組み立てた特定の部品が全員割れてしまうというアクシデントに見舞われましたが、2回目までに改善策を施した部品を送ってもらい対応しました。また、2回目の活動日には指導スタッフとして、鶴岡工業高校3年生のロボット作りが得意なルナさん・マコさん・アヤカさんが来てくれたので、最初は少し恥ずかしがっていたけど、分からないところは聞いたり、力が必要なところはやってもらったりしていました。



2回目の最後に「あと30分あれば完成できる」という人はいましたが、完成にはいたりませんでした。パーツの組み替えで、車輪で走るスチームトレインと、ノシノシ歩くスチームウォーカーの2通りを作ることができます。ぜひお家で挑戦してみてください！完成したロボットの動きを動画に撮って発明クラブ公式LINEに送ってもいいよ。みんなのロボットがどんな動きをするのか楽しみです。